知床エコツーリズム推進実施計画･今後の方針について（H22.2月）

知床エコツーリズム推進実施計画
（H18年度作成）

1.ガイドラインの運用
2.滞在型観光の推進
3.統一窓口機能の構築
4.地域発信型ツアー
5.自然ガイドのスキルアップ
6.自然保護活動の実施
7.既存観光地の検討
8.観光収入を環境保全に還元するシステム構築の検討
9.実施体制・組織の整備
10.独自財源の確保

H19～H21年度の実施状況、外部要因（知床五湖利用コントロール導入検討、観光圏）等に対応し、

今後の計画を加重配分

H22年度以降の具体的な事業

推進協議会事業として今後重点的に取り組む項目

適正なルールの下での質の高いガイドツアーを知床エコツアーの代表と捉え、ガイドの育成、認証制やガイドライン運用で質の向上、地域ブランドとして発信していくことに重点的に取り組む。

- a.ガイドラインの運用 → 五湖冬季利用
- b.自然ガイドのスキルアップ → ガイド講習
- c.地域発信型ツアー → ガイドウィーク開催

エコツーリズム推進のために、継続して取り組む項目

環境保全への貢献などエコツーリズムとして必須の取り組み、組織の運営など継続的に取り組むべき項目については、状況に応じて目標を調整しつつ、可能な範囲で進める。

- d.自然保護活動の実施
- e.観光収入を環境保全に還元するシステム構築の検討
- f.実施体制・組織の整備
- g.独自財源の確保

→ 知床ファンクラブ検討

今後は他の事業と連携、あるいは他の事業において進める項目

観光振興に関する別事業において重複して取り組んできた項目については、主な取り組みの場を推進協議会事業以外の場に移し、連携を取りながら進める。

- h.既存観光地の検討
- i.滞在型観光の推進
- j.統一窓口機能の構築

→ インフォメーションスタッフ交流会など（観光圏事業）

資料6-1